

経営比較分析表（平成29年度決算）

埼玉県草加市 草加市立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	24	対象	透し未開方	救臨災輸
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	看護配置	
247,991	38,431	非該当	7:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

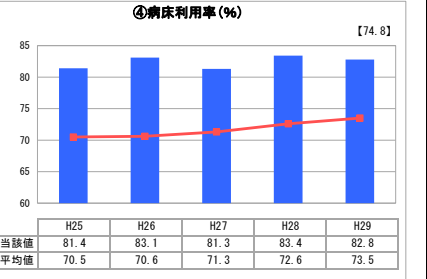
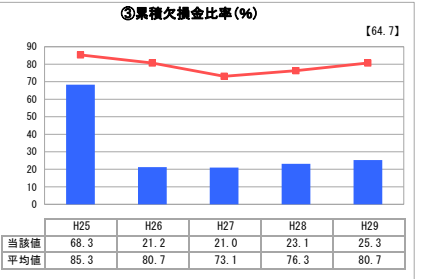
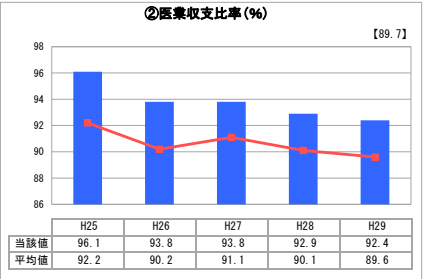
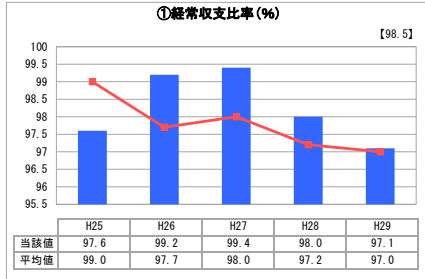
許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
380	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	380
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
380	-	380

グラフ凡例

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)

【】 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性

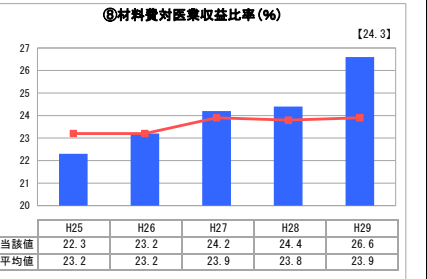
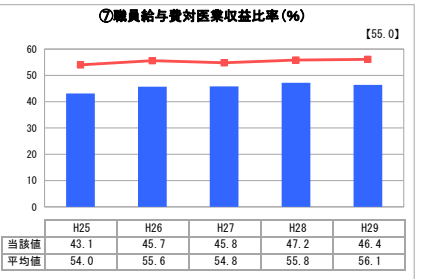
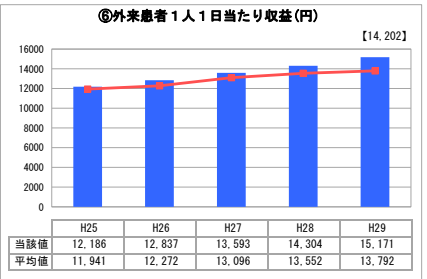
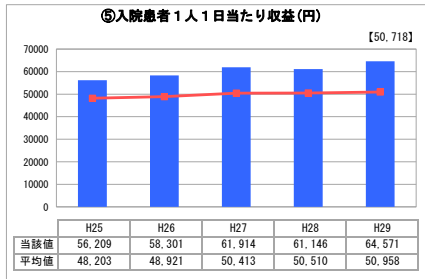


「経常損益」

「医業損益」

「累積欠損」

「施設の効率性」



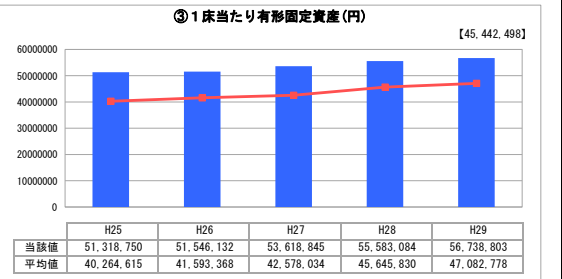
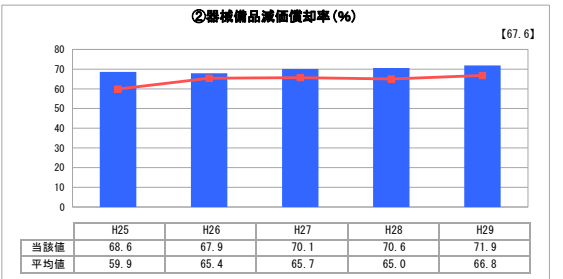
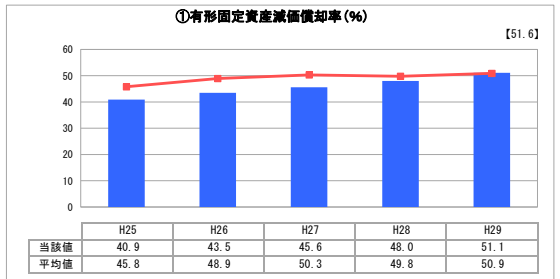
「収益の効率性①」

「収益の効率性②」

「費用の効率性①」

「費用の効率性②」

2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」

「器械備品の減価償却の状況」

「施設投資の状況」

I 地域において担っている役割

地域における基幹病院として、救急医療や高度医療などの急性期医療を提供するとともに、大規模災害等に対応する医療機能を備えた災害拠点病院としての役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

類似団体と比較すると、⑧材料費対医業収益比率以外の項目については、高水準で推移している。なお、材料費については、各医療機関の診療体制の違いによるものと推察される。

経年比較では、⑤入院患者1人1日当たり収益及び⑥外来患者1人1日当たり収益の増加幅以上に、⑧材料費対医業収益比率が増えている。これは、高価な薬品や治療機器を使用した治療が増えていることが影響している。②医業収支比率の推移をみると利益性は減少傾向にある。また、①経常収支比率にバラツキがあるのは、平成26年度の会計制度改正及び他会計繰入金の増減等が影響している。

経営状況については、上記のとおり健全性・効率性が良好といえる状況ではないことから、新公立病院改革プランに基づき経営改革を図る必要がある。

2. 老朽化の状況について

施設全体の老朽化度を示す①有形固定資産減価償却率及び②器械備品減価償却率が、類似団体と比較して高いことから、更新サイクルを分析し、計画的な更新をしていく必要がある。

また、③1床当たり有形固定資産も類似団体と比較して高い要因として、診療体制の充実に伴う増築及び高額医療機器の購入等が影響しているが、今後の更新時には、計画的な更新に併せて費用対効果や必要投資かの判断もしていく必要がある。

全体総括

地域の中核病院である当院は、救急医療・高度医療・災害医療等、地域住民にとって必要な医療を提供しているが、近年の経営状況は若干減少傾向にある。また、平成16年の新築移転から13年(平成29年度)を経過していることから、建築設備の老朽化も視え始めている。

これらのことから、新公立病院改革プランに掲げた「がん疾患の強化」及び「救急医療の維持」等の実践や地域の医療機関と連携を深め、地域医療支援病院を取得することで入院収益を確保し、経営改善を図るとともに、施設の更新計画を策定し、安定的で継続性のある病院事業を運営していくことが重要と考える。

※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。